

問1 18世紀初頭の日本の農業生産において、全体としては田の面積が畑の面積を上回る中で、例外的に畑の面積の方が広がった地域はどこですか。（2026年 大阪公立入試 類似）

1. 関東地方 2. 九州地方 3. 東北地方 4. 近畿地方

問2 6月から10月にかけてピーマンの出荷量がピークを迎える茨城県など、関東地方の太平洋側に位置する地域の「冬の気候」について述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 大分県公立入試 類似）

1. 北西からの季節風の影響で、晴天の日が多くなり、乾燥した強い風が吹く。
2. 季節風が山脈に突き当たるため、冬の時期に雨や雪の日が多くなる。
3. 一年を通じて降水量が少なく、冬でも月平均気温が常に15度を超える。
4. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たい北東の風の影響で、冬は常に霧が発生する。

問3 関東地方の各都県における大学数の分布を、1つの正方形の記号を10校として地図上に配置する統計地図で表現するとします。群馬県の大学数が14校、茨城県の大学数が10校であるとき、この地図上で用いられる正方形の数や表現の説明として適切なものを選びなさい。（2022年 沖縄公立入試 類似）

1. 群馬県は正方形1.4個分、茨城県は正方形1個分として表現される。
2. 群馬県は正方形14個分、茨城県は正方形10個分として表現される。
3. 群馬県は正方形4個分、茨城県は正方形0個分として表現される。
4. 群馬県は正方形1.4個分、茨城県は正方形0.1個分として表現される。

問4 日本の大都市圏では、都心部と周辺部の間で人口の移動が激しく、統計上の指標に大きな差が生まれます。東京都のように、昼夜間人口比率が100%を大幅に超え、周辺地域から多くの人々が流入する要因として、最も適切な背景はどれですか。（2021年 徳島公立入試 類似）

1. 政治や経済の中核機能が集中し、就業や通学の機会が多いため
2. 広大な農地が確保されており、農業従事者の流入が多いため
3. 住宅価格が安く、周辺の県から移住する子育て世帯が多いため
4. 豊かな自然環境を求めて、老年人口の転入が急増しているため

問5 関東地方の東部に位置し、太平洋に面して九十九里浜が広がっている千葉県の半島の名称を答えよ。（2018年 北海道公立入試 類似）

1. 房総半島 2. 能登半島 3. 紀伊半島 4. 三浦半島

問6 日本の諸地域における産業の特色について、2021年の統計では東京都の出版業事業所数が全国の55.5%を占めており、2位の大阪府（6.6%）や3位の神奈川県（3.7%）を大きく引き離しています。このように出版業が東京に極端に集中している理由として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 首都として国内外から多くの人々が集まるため、新しい情報が集まってきやすいという利点があるから。
2. 他の都道府県に比べて土地の価格が安く、大規模な印刷工場を建設するための広い用地を確保しやすいから。
3. 出版物の原材料となる木材やパルプの産地に近く、原料の調達や輸送にかかるコストを抑えられるから。
4. 内陸部に位置しているため、津波などの自然災害の影響を受けにくく、在庫を安全に保管できるから。

問7 日本の都道府県を分類した際、県名と県庁所在地の都市名が異なるグループに属する県があります。関東地方の群馬県、東海地方の愛知県、四国地方の香川県、九州地方の宮崎県の4つの県について、その特徴を説明した文として正しいものを選びなさい。（2015年 佐賀公立入試 類似）

1. 群馬県・愛知県・香川県の3県は、いずれも県名と県庁所在地の都市名が異なる。
2. 4つの県はすべて、県名と県庁所在地の都市名が一致している。
3. 宮崎県のみが、県名と県庁所在地の都市名が異なる。
4. 群馬県と愛知県は一致しているが、香川県と宮崎県は異なる。

問8 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の鉄道利用率が全国平均の23%を大きく上回り、40%から60%近くに達している統計結果があります。このような公共交通機関への依存度が高い地域において、大地震などの災害により鉄道が長時間停止した際、自宅が遠いために徒歩での帰宅が難しくなる人々を何と呼びますか。（2019年 岩手県公立入試 類似）

1. 帰宅困難者 2. 避難指示対象者 3. 昼間人口減少者 4. 仮設住宅入居者

答え合わせ・解説

問1	答え 1 関東地方	江戸時代中期の土地利用状況を地方別に比較すると、多くの地域で米を作るための「田」が優先的に確保されていましたが、関東地方だけは「畑」の面積の方が広がっていました。九州地方などで畑作が盛んなイメージを持つ受験生も多いですが、当時の統計上の面積比較において、畑が田を上回るという逆転現象が起きていたのは関東地方であるという点が重要な特徴です。
問2	答え 1 北西からの季節風の影響で、晴天の日が多くなり、乾燥した強い風が吹く。	茨城県などの関東地方（太平洋側）では、冬は北西の季節風が山を越えてくるため、水分が失われた乾燥した風が吹き、晴天が続くのが大きな特徴です。これに対し、冬に雨や雪が多くなるのは日本海側の気候であり、北東からの冷たい風（やませ）の影響で気温が上がりにくくなるのは東北地方の太平洋側の夏に見られる現象です。農業においては、こうした気候特性を理解することが地域の産業を理解する鍵となります。
問3	答え 1 群馬県は正方形1.4個分、茨城県は正方形1個分として表現される。	統計地図において、一定の数値を1つの図形（単位図形）で置き換えて表す手法では、実際の数値を単位となる数値で割ることで、配置する記号の数を算出します。この場合、10校を1個の正方形とするため、14校ある群馬県は $14 \div 10 = 1.4$ 個、10校ある茨城県は $10 \div 10 = 1$ 個の正方形を用いることで、地域ごとの大学数の多寡を視覚的に比較しやすくしています。
問4	答え 1 政治や経済の中核機能が集中し、就業や通学の機会が多いため	東京都には中央官庁や企業の公署、大学などの教育機関が密集しています。このため、昼間には仕事や学びのために埼玉県や千葉県、神奈川県などの周辺地域から生産年齢人口を中心とした膨大な人数が移動してきます。その結果、昼間人口が夜間人口を大きく上回る「昼夜間人口比率の高い都市」としての特性が生まれます。
問5	答え 1 房総半島	千葉県の大部分を占める半島であり、太平洋岸には砂浜海岸である九十九里浜が広がっている。近郊農業が盛んであり、京葉工業地域も位置している。能登半島は北陸地方の石川県、紀伊半島は近畿地方南部、三浦半島は神奈川県にある。
問6	答え 1 首都として国内外から多くの人々が集まるため、新しい情報が集まってきやすいという利点があるから。	東京都は日本の首都であり、政治、経済、文化の中心地です。出版業のような情報関連産業は、情報の鮮度や多様性が重要であるため、国内外から多くの人や企業が集まり、常に新しい情報が集まってくる環境にある東京に集中しています。一方で、土地が安い、あるいは原材料の産地に近いといった理由は、重化学工業や製紙業などの立地条件であり、出版業の集中理由としては不適切です。
問7	答え 1 群馬県・愛知県・香川県の3県は、いずれも県名と県庁所在地の都市名が異なっている。	群馬県の県庁所在地は前橋市、愛知県は名古屋市、香川県は高松市であり、いずれも県名と都市名が異なります。これに対し、宮崎県の県庁所在地は宮崎市であり、県名と都市名が一致しています。全国の都道府県を学習する際は、このように名称が異なる県を整理して覚えることが重要です。
問8	答え 1 帰宅困難者	東京圏では都心部にオフィスや学校が集中しており、周辺の県から鉄道を利用して通勤・通学する人が非常に多いという特徴があります。そのため、災害によって鉄道などの公共交通網が寸断されると、徒歩では帰宅できない距離にいる人々が大量に発生し、駅周辺の混雑やパニックが防災上の大きな課題となります。